

草の根活動 交流NEWS

第727号
2025年3月3日
会員数158万3382人
読者数4649人

消費税をなくす全国の会
〒114-0023
東京都北区滝野川3-3-1-201
電話03-3940-0401
FAX03-3949-9885
Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp

消費税

中間所得層にも重いことが判明 減税実現に向け読者を増やそう

消費税が低所得者だけでなく、年収800万円以下では税負担の累進性が全くないことが国会で明らかになりました。衆院予算委員会で石破首相に迫ったのは日本共産党の田村智子委員長です。年収200万円以下の税負担は10・8%、年収800万円以下でも10・9%。逆進性が強く、応能負担の原則を崩しているのが消費税であることがはっきり示されました。大企業向けの減税優遇、富裕層への応能負担を徹底すれば5%減税は十分に可能です。明らかになった問題を知らせ、読者5千人達成に向けて掛けばきましょう！



見本誌を受け取り購読 石川の会

「会報読者5千人大作戦」の訴えを受け取った全国の会の世話人のOさん。早速、見本誌と購読申し込みを能登半島地震で自宅に住めなくなり、仮設住宅に入居しているFさんに届けました。会報「ノー消費税」を手にしたFさんは「これなら読者を増やせ」と話し、まずは自らが読者に。Fさんは元教員でお寺の住職さんです。教員時代、「お茶の葉を買ってきて」と言われ、1万円札を握ってお茶の葉を買いに行くと「消費税分が足りない」と言われがっかり。家の修理にも消費税が重くのしかかり、「とんでもない税金だ」と感じていました。「物価が上がって暮らしは大変。本は文庫本しか買えない。消費税減税はますます切実」と地域の仲間に購読を訴えています。

10人の読者拡大を宣言 岐阜の会

岐阜の会のHさん。「全国の会」からかかってきた激励の電話の中で「10人の読者を増やす」と力強く宣言。20部の宣伝誌を注文して読者拡大に励んでいます。

国会論戦に怒り心頭 長野の会

長野の会のTさんに電話を入れると「なかなか体が思うように動かず、『なくす会』の活動もできてなくて情けない」とちょっと元気が出ないようす。「でも、国会中継を見ていると、予算審議が一部の野党の

部分修正で終わっている。予算は国の姿を映す鏡、どこを向いているのか。社会保障は削られ、物価高なのに所得が少ない。消費税減税は待たなし」と怒っています。「なくす会の活動も滞っているけど、みんなで話し合ってみる」と。活動再開に向けて知恵を出し合っていく決意を語ってくれました。

田村委員長の追及、良かったですね 富山の会

富山の会では購読申込書1200部を注文し、「しんぶん赤旗」日刊紙に折り込むことにしています。全国世話人のMさんに電話を入れると「なかなか前に進まないんですよ」と言いつつも、国会中継の話になると「この間の田村委員長の話は良かったですね。物価高で消費税減税は切実。読者拡大、頑張ってみますね」と元気な声が返ってきました。拡大の報告を待っています。



各界連署名提出集会

3月24日(月)13時～
衆院第2議員会館第1会議室
(集めた署名は3月19日(水)までに全国の会に送ってください)

